



牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び 西普天間住宅地区の引渡し式典・記念祝賀会の開催



式典に出席された菅内閣官房長官(左)ら日本側関係者



式典に出席されたシュローティ在日米軍副司令官(右)ら米側関係者

平成30年5月20日、那覇市内のザ・ナハテラスにおいて、当局、宜野湾市及び浦添市の共催により牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び西普天間住宅地区の引渡し式典・記念祝賀会を開催しました。式典では、来賓挨拶として菅内閣官房長官、シュローティ在日米軍副司令官、翁長沖縄県知事、佐喜眞宜野湾市長、松本浦添市長から御挨拶を賜りました。式典には日米両政府、沖縄県、宜野湾市及び浦添市の関係者が出席し、式典後には記念祝賀会も行われ、参加者一同和やかな雰囲気の中、今回の返還・引渡しが実現したことを祝いました。

目次

CONTENTS

牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び
西普天間住宅地区の引渡し式典・記念祝賀会の開催・・・ 2～4
 キャンプ・ハンセンのマスタープランについて・・・ 5
 普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況について・・・ 6～7
 防衛施設周辺対策事業・・・ 8
 沖縄市からのお知らせ・・・ 9
 嘉手納飛行場所属 F-15C イーグル戦闘機の墜落事故について・・・ 10
 F-22A ラプター戦闘機の暫定展開について・・・ 10

熊本空港で発生したUH-1Yヘリによる予防着陸について・・・ 10
 津堅島及び伊江島でのパラシュート降下訓練について・・・ 10
 県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況・・・ 11
 県内企業の工事受注機会確保と平成29年度建設工事契約実績・・・ 11
 米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローン飛行に関する
 お知らせとお願い・・・ 11
 小野寺防衛大臣の沖縄訪問について・・・ 12



牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び 西普天間住宅地区の引渡し式典・記念祝賀会の開催



菅内閣官房長官挨拶



菅内閣官房長官

安倍政権では、国家戦略として、沖縄振興を推進いたしております。有効求人倍率は、政権交代前は0.43倍でありましたものを、現在は、本土復帰後初めて1倍を超え、平成29年度の観光客数は過去最高記録を更新し、ハワイを超えるなど、沖縄経済は推移致しております。沖縄の基地負担軽減のため、「できることはすべて行う、目に見える形で実現する」という強い決意の下に、北部訓練場の返還を始め、長年にわたり実現しなかった課題、一つ一つ全力で取り組んでいます。

この度の牧港補給地区の一部の土地返還は、沖縄南部地域の大動脈である国道58号の拡幅を目的とするものであります。平成8年のSACO合意にも盛り込まれていましたが、ようやく実現することができました。沖縄県内の渋滞緩和と交通・物流機能の強化を図るために、この返還に合わせて、本年3月には、地元の皆様のご期待にお応えする形で、臨港道路浦添線と浦添北道路の開通を実現することができました。

また、これらの道路と国道58号を連絡する県道を整備するために、米側との調整を経て、牧港補給地区の一部の土地を日米の共同使用とし、本年3月に暫定開通をすることができました。今後は、朝夕に激しく渋滞する国道58号について、バス専用レーンとしての活用も見据えつつ、拡幅による上下1車線ずつの追加をできる限り早く実現できるよう取り組んでまいります。

今回、引き渡された西普天間住宅の跡地は、沖縄県の人口の約8割を占める嘉手納以南の米軍基地の約7割について、安倍政権となって、初めて返還時期を明示する形で合意をした返還計画による最初の大規模な返還事例であります。地元では、跡地に「沖縄健康医療拠点」の整備を目指しており、政府としても、平成26年以降、「骨太の方針」に位置付けて、平成30年度予算に実施設計費を新規計上しました。今後とも、沖縄における跡地利用のモデルケースとなるよう、必要な支援をしっかりと行ってまいります。また、西普天間住宅地区から国道58号へのアクセスを改善するために、宜野湾市がインダストリアル・コリドー南側地区へ設置を進めている高架式道路についても、早期の供用開始に向けて、米側との調整や必要な財政支援を行ってまいります。

今回の返還と引渡しは、沖縄基地負担軽減に向けた大きな一歩となるものであり、政府としては、今後とも、牧港補給地区と普天間飛行場の1日も早い全面返還と地元の振興に全力で取り組んでまいります。特に、普天間飛行場の辺野古移設までの間における負担軽減は極めて重要であると思っています。引き続き、米軍と密接に連携し、米軍機の飛行の安全確保と騒音防止に全力で取り組んでまいりたいと思います。





牧港補給地区（国道58号沿い）の返還及び 西普天間住宅地区の引渡し式典・記念祝賀会の開催



来賓挨拶（抜粋）

【シュローティ在日米軍副司令官】

本日の土地の返還は、沖縄における米軍基地の再編・縮小・統合にむけた米国・日本両政府の献身的な努力と、地元自治体及び県政による協力が進展してきていることを目の当たりにできる結果と考えております。もちろん、沖コンと言われます、沖縄における在日米軍施設に関する統合計画というのも一つ重要なものです。

本日の返還及び2016年に返還された北部訓練場地域の4,000ヘクタールの返還によって表されるように、我々としては沖縄における再編努力の一環として、時機を得た土地の返還ということに強くコミットし続けて参ります。日本の防衛を支援する地域の平和と安全に寄与するという点に焦点を当てた我々の責務を果たしながらこういった努力を続けてまいります。



シュローティ
在日米軍副司令官

【翁長沖縄県知事（謝花沖縄県副知事代読）】

牧港補給地区（国道58号沿い）の土地につきましては、昭和49年から協議、検討が進められ、平成17年の地元同意を経て、返還の運びとなりました。今後は、国道58号の拡幅による交通渋滞の緩和及びそれがもたらす経済・産業活動の活性化が期待されます。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区につきましては、平成27年3月に返還され、3年の支障除去期間を経て、地権者への引渡しが行われました。今後は、国、県、宜野湾市、琉球大学など関係機関が連携し、高度医療・研究機能の拡充、地域医療水準の向上、国際研究交流・医療人材育成の3つを柱とする、「沖縄健康医療拠点」の形成に向けて取り組んでまいります。

政府におかれましては、今後も引き続き、基地の整理縮小をはじめとする沖縄県の過重な基地負担の軽減に取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。



謝花沖縄県副知事
(翁長県知事代理)

【佐喜眞宜野湾市長】

西普天間住宅地区のまちづくりにつきましては、今年度以降は都市計画決定や、区画整理事業の事業認可に向けた作業を進めてまいります。地権者の皆様をはじめとする宜野湾市民、沖縄県民が返還されてよかったと思えるような、沖縄健康医療拠点の形成を核とした跡地利用計画の実現に向けて取り組みを行ってまいりたいと思います。

跡地利用計画の先行モデルとして、今後返還される普天間飛行場等の跡地利用計画につながるよう、国、沖縄県及び地権者と、しっかりと連携して取り組みを進めていきたいと考えております。



佐喜眞宜野湾市長

【松本浦添市長】

国道58号沿いの約3.4ヘクタールが3月31日付で前倒し返還が実現しましたことは、県経済へ与える影響もさることながら、県民が目に見える形で効果を感じることができると同時に、今後の返還への第一歩として、さらに期待が膨らむ意味でも、大変喜ばしく感じているところでございます。

本市西部域のまちづくりは、本市のみならず、本県の発展へ大きなポテンシャルを秘めております。特に西海岸開発と牧港補給地区返還後の跡地との一体的な開発の実現により、更にその効果は大きくなるものと考えており、日米両政府をはじめ、関係者各位には今後とも本市のまちづくりにご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



松本浦添市長

返還・引渡記念証贈呈の様子

来賓挨拶の後、牧港補給地区（国道58号沿い）の返還にあたり、米国政府より日本政府並びに沖縄県及び浦添市に対して、また、西普天間住宅地区の引渡しにあたっては、日本政府より沖縄県及び宜野湾市に対して、それぞれ記念証が贈呈されました。



祝賀会の様子

式典後には記念祝賀会が行われ、その中で福井内閣府特命担当大臣、山本防衛副大臣、武田自由民主党幹事長特別補佐、島尻内閣府大臣補佐官から御挨拶を賜り、西銘経済産業副大臣、儀間参議院議員、伊波参議院議員、新里沖縄県議会議長、島尻浦添市議会議長、大城宜野湾市議会議長からもお祝いのお言葉を賜りました。



福井内閣府
特命担当大臣



山本防衛副大臣



武田衆議院議員



島尻内閣府
大臣補佐官



祝賀会に御出席いただいた(左から)西銘経済産業副大臣、儀間参議院議員、伊波参議院議員、新里沖縄県議会議長、島尻浦添市議会議長、大城宜野湾市議会議長



琉球大学大城学長による
乾杯の挨拶

今回の返還と引渡しの実現は、関係者の理解と努力なしには成し得なかったものでした。

牧港補給地区の一部の土地返還は、返還に向けて直面した様々な課題に対し、地元浦添市はもとより米国政府の協力もあり、返還実現に至ることができたことを認識しております。

また、引き渡された西普天間住宅地区の跡地については、宜野湾市による沖縄健康医療拠点の形成を核とした跡地利用の実現に向けて取り組み、跡地利用の先行モデルとして今後返還される普天間飛行場等の跡地利用計画が進められていくよう、政府としては、引き続き地元宜野湾市の振興を支援してまいります。

沖縄統合計画に基づくキャンプ・ハンセンマスタープランについて

平成25年4月に公表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、キャンプ・ハンセンにキャンプ瑞慶覧と牧港補給地区から倉庫、工場等が移設されることとされています。

これまで米側において建物移設等の配置計画であるマスタープランを作成してきたところ、今般、日米間の協議が整ったことから、5月11日、日米合同委員会において合意されました。

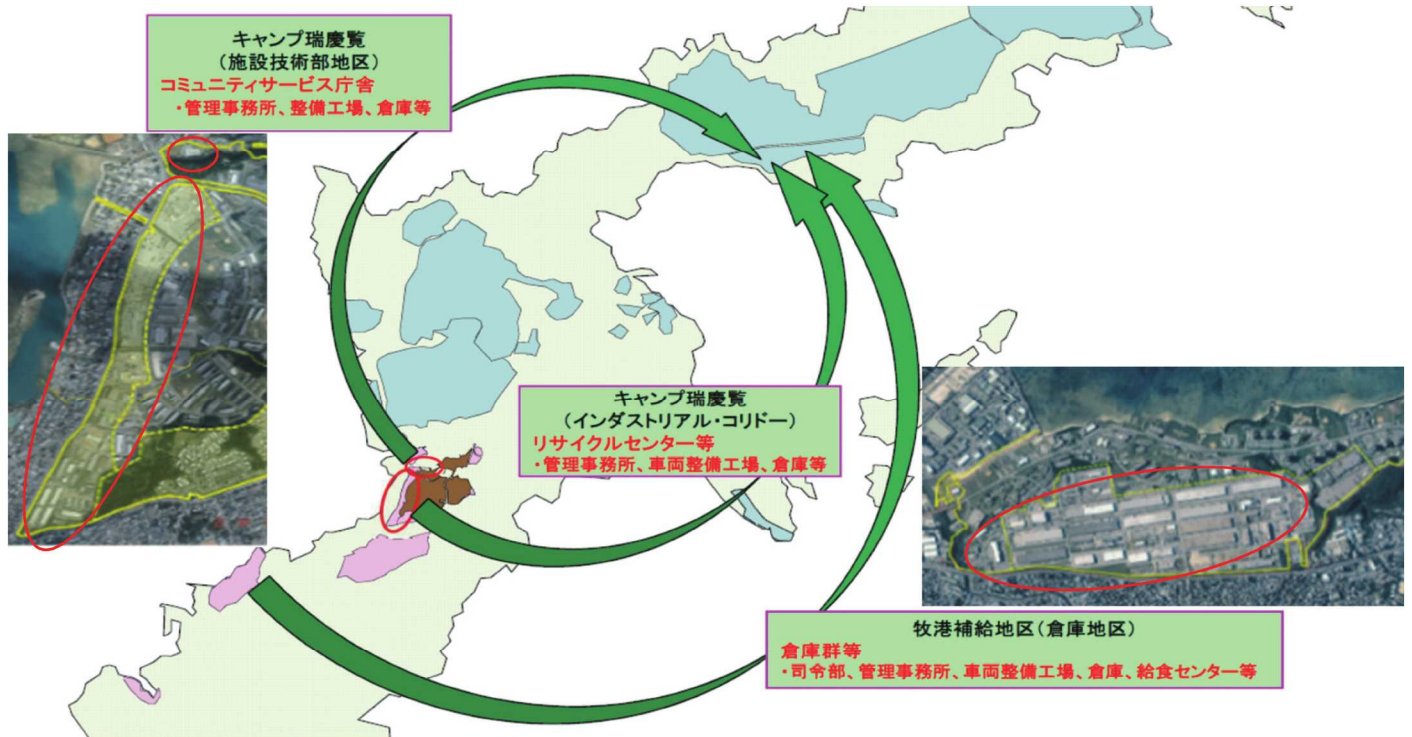
このマスタープランについては、5月19日の管内閣官房長官と仲間金武町長との面談において、仲間金武町長から「沖縄県の全体的な基地負担の軽減と経済振興につながる計画と理解し、受入れについては重い決断ではありますが、やむを得ないことだと思っております。」と御理解をいただき、また、「施設の受入れにより、町民の負担がこれ以上増えることがあってはならず、キャンプ・ハンセンから派生する諸課題の解決及び地域の振興発展について、国の特段の御配慮をお願いします。」との要望を受けました。

管内閣官房長官からは、「県全体の基地負担の軽減、更に振興を考えた時に、町長の大変重い決断を頂きましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。政府としては、この移設によって最も影響を受ける金武町の皆さんに対して、生活環境の保全や生活の向上を図るため、できる限り御配慮させて頂きたいと思っております。御要望にはしっかり受け止めて誠実に実行させて頂きたいと思っております。」旨発言されました。

当局といたしましては、これを受けて、移設に向けた作業を加速化することにより、一日も早い嘉手納以南の土地の返還が実現できるよう、引き続き、全力で取り組んでいくとともに、仲間金武町長からいただいた御要望については、当局といたしましても誠実に対応することとしており、特に早期の課題解決が望まれている渋滞対策については優先的に取り組んでまいります。



仲間金武町長と管内閣官房長官の面談



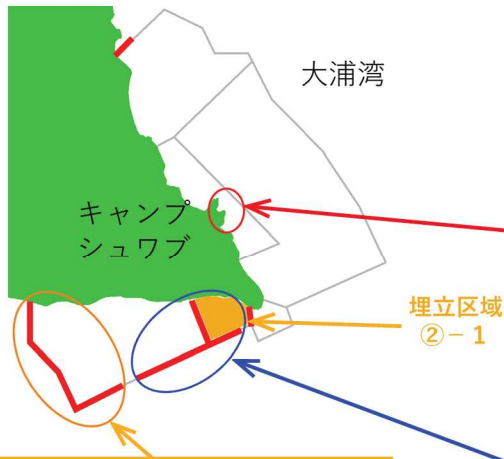
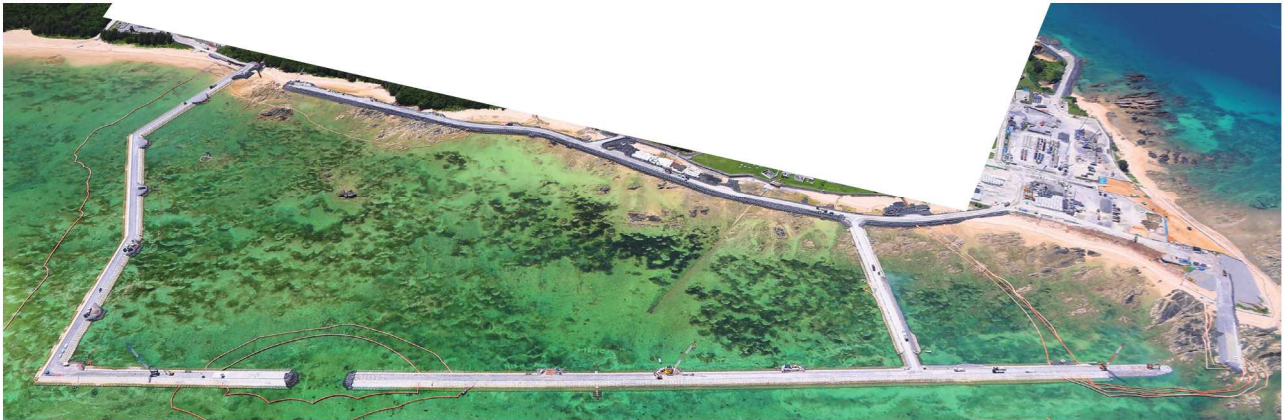
キャンプ・ハンセンへの移設概要

普天間飛行場代替施設建設事業の進捗状況

キャンプ・シュワブの沿岸部における普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、昨年11月から辺野古側の護岸工事に着手しているところですが、6月末現在、辺野古側（西側）については、K1、K2及びK3護岸がほぼ完成し、K4護岸を東側方向に施工を進め、また、辺野古側（中央部）については、N5護岸（仮設道路より外側）がほぼ完成し、K4護岸を東方向に施工を進めているところです。なお、辺野古側（東側）については、N3護岸がほぼ完成しています。

また、昨年12月より、大浦湾側の仮設道路にも着手しています。

当局といたしましては、工事の実施に当たって、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮いたします。



大浦湾側仮設道路の施工状況



護岸の施工状況①



護岸の施工状況②

県に事業行為通知書を提出

当局といたしましては、普天間飛行場代替施設建設事業に関し、常日ごろから沖縄県と様々なやり取りを行っているところですが、沖縄県とのやり取りを行った結果、6月12日、準備が整ったことから、事業行為通知書を提出しました。

同通知書の概要は、以下のとおりです。

事業名：普天間飛行場代替施設建設事業に伴う埋立て
事業現場の所在地：キャンプ・シュワブ沿岸域（名護市）

事業現場の面積：63,410㎡

事業行為内容：事業概要 埋立工（埋立区域②-1）

土壌の種類：岩ズリ

土地の形状：平坦地

事業行為：開始予定年月日：平成30年 8月17日

終了予定年月日：平成32年 3月31日



環境監視等委員会(第14回、第15回)を開催



第15回環境監視等委員会での議論の様子

4月9日（第14回：防衛省及び沖縄防衛局）及び5月28日（第15回：沖縄防衛局）、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

委員会では、サンゴ類の生息状況などについて当局から説明を行い、討議が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまで環境監視等委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後も引き続き同委員会の指導・助言を踏まえて適切に進めてまいります。

海上工事に係る安全講習会を実施



海上工事に係る安全講習会の様子

4月17日、名護労働基準監督署の安慶名所長、松橋労働基準監督官を招き、「海上工事に係る安全講習会」を実施しました。

講習会では、安慶名所長から過去の事故例等の説明、現地講習会を行い、工事施工業者の安全意識の更なる向上を図ったところです。

当局といたしましては、引き続き作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、普天間飛行場代替施設建設事業を進めてまいります。

環境美化の取り組みを実施



プランター設置状況

2月18日、国道329号のフェンス沿いにプランターを設置し、花の開花時期を踏まえ、5月27日にプランターの入替作業を行いました。

当局といたしましては、引き続きキャンプ・シュワブ周辺の環境美化に努めながら周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、普天間飛行場代替施設建設事業を進めてまいります。

北中城村立北中城中学校が完成

北中城中学校の改築工事が完了し、3月26日に落成式典が挙行され、多くの関係者が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、文部科学省の補助を活用していますが、当局といたしましても、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第3条第2項に基づく防衛施設周辺防音事業として普天間飛行場を離発着する航空機による音響を防止又は軽減するため、改築工事に併せて、防音サッシや空気調和設備（エアコン等）の設置に要する経費を補助しています。

当局といたしましては、北中城中学校の完成を祝うとともに、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。



上：完成した中学校の外観
左：テープカットをする新垣村長ほか



テープカットをする桑江市長ほか



完成した宮里児童センターの外観

沖縄市に宮里児童センターが完成

4月13日、沖縄市宮里児童センターの落成式典が行われ、桑江市長をはじめ、多くの関係者が出席し、本施設の完成を祝いました。

本施設は、平成29年度に沖縄市が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して、宮里地区の子供達の健全な育成に資するとともに、地域福祉活動の拠点となる施設として整備したものです。

この児童センターは、バスケットボールの練習もできる遊戯室や、防音機能もあり楽器の練習もできる創作活動室のほか、図書室なども備えており、地域の皆様方は、この児童センターの完成を強く待ち望まれていました。

当局といたしましては、本施設の完成により沖縄市の将来を担う子ども達が健やかに成長することを願っております。

嘉手納町民農園が完成

4月27日、嘉手納町民農園の開園式が行われ、當山町長をはじめ、多くの関係者が出席し、開園を祝いました。

この農園は、地域住民の方々が、野菜や花などの栽培をとおして自然とふれあい、世代間交流や生きがいがづくりの場とすることを目的とし、また、防衛施設周辺財産の有効活用を図る観点から整備したものです。

本農園は特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、全78区画ある農地のほかトイレや休憩施設、給排水施設を備えています。

当局といたしましては、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。



開園された農園



テープカットをする當山町長ほか

嘉手納町北区学習等供用施設が完成

5月26日、嘉手納町北区に居住する住民の集会、学習、保育及び休養を目的として建設された「北区学習等供用施設」の落成式典及び祝賀会が挙行され、多くの地元住民をはじめとする関係者が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、嘉手納町が民生安定助成事業（防音助成）を活用して建設したもので、地域住民の自治活動の拠点として整備され、バリアフリー化が図られるなど、安全で快適な利用が可能になったことから、子どもから高齢者まで多世代に交流の場として利用していただくことが期待される施設であります。

当局といたしましては、本施設が有意義に活用され活発な自治会活動が展開されることを願っており、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



完成した北区学習等供用施設の外観



テープカットをする當山町長ほか

～沖縄市からののお知らせ～

コザ運動公園内に、天候に左右されず屋外スポーツ等ができる屋根付きの運動広場「**沖縄市グリーンフィールド**」が完成しました。

事業目的

炎天下や雨天時に屋外スポーツが十分に行える代替施設の整備が望まれていたため、天候に左右されない屋根付きの運動広場を整備し市民の健康増進及び競技力の向上を図ることを目的としています。



落成式典

コザ運動公園内に整備を進めていた沖縄市グリーンフィールドが完成し、桑江市長や阿多利市議会副議長、中嶋浩一郎沖縄防衛局長など関係者が参列する中、平成30年 2 月 16 日に落成式典を開催しました。テープカットには広島東洋カープの緒方孝市監督や市内幼稚園児も参加し、ファミリー楽団ビビデバビデブーの演奏で和やかに行われました。同日スタートした広島東洋カープの春季キャンプから供用を開始しています。沖縄市グリーンフィールドは、炎天下や雨天時でも天候に左右されず屋外スポーツ等ができる屋根付きの運動広場、野球の打撃・守備の同時練習やフットサル、保育園の運動会等多様な用途で活用できます。

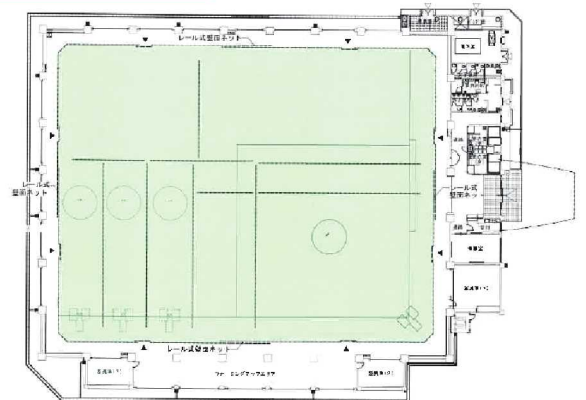
市民の生涯スポーツ・レクリエーション活動を支える環境づくりや競技力の向上、コザ運動公園の機能強化を図りスポーツコンベンションシティの実現を推進しています。



施設概要

- 名称：沖縄市グリーンフィールド
- 所在地：沖縄市諾見里二丁目1番1号(コザ運動公園内)
- 概事業費：約17.5億円 ※防衛者補助金を活用
- 嘉手納飛行場等周辺屋外運動場整備助成事業として事業採択
- 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金(8条:補助率2/3)
- ※実施設計:特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条を活用)
- 構造：鉄筋コンクリート造一部(屋根)鉄骨造平屋建て
- 建築面積：4,503.93㎡(本体棟4,419.04㎡、駐車場棟84.89㎡)
- 延床面積：4,156.24㎡(本体棟4,028.86㎡、駐車場棟127.38㎡)
- 運動面積：アリーナ部3,547.93㎡(65m×52m)【以下、内訳】
 - ⇒人工芝エリア 2,816㎡(ロングマイル人工芝仕上げ)
 - ⇒周回路エリア 564㎡(ウレタンゴムチップ仕上げ)
 - ⇒ウォーミングアップエリア 167.93㎡(ウレタンゴムチップ仕上げ)
- 用途：野球(打撃+守備の同時練習)、フットサルコート3面、保育園の運動会等
- 諸室：受付、会議室、便所、更衣・シャワー室、電気室、器具庫、備蓄倉庫等
- 附属設備：照明48灯(500LX)、雨水利用設備 15㎡、身障者用駐車場(5台)等
- その他：屋根面積の30%を膜構造とし、自然採光を取り入れた省エネ対策(照明)
- 竣 工：平成30年1月

施設図(野球使用時)



お問合せ先

施設利用：NPO 法人沖縄市体育協会（指定管理者） TEL：098-932-0777
事業内容：沖縄市教育委員会市民スポーツ課 TEL：098-932-1294



嘉手納飛行場所属F-15Cイーグル戦闘機の墜落事故について

●墜落事故の概要

6月11日午前6時26分頃、沖縄本島の南方の海上において、米空軍嘉手納飛行場に所属するF-15C戦闘機1機が通常の飛行訓練中に墜落し、航空自衛隊那覇救難隊のUH-60ヘリコプターが緊急脱出したパイロットを救出の上、キャンプ瑞慶覧に所在する海軍病院に搬送しました。

●米軍の対応

米側は、事故後、同飛行場に所属するF-15戦闘機全ての機体について、安全点検を完了して飛行の安全性を確認したことから、6月13日、同機の飛行を再開しました。

防衛省及び沖縄防衛局の対応

本事案の発生の第一報を受けて情報収集に努め、得られた情報については、沖縄県をはじめとする関係自治体等に対して情報提供を行いました。

また、米側に対し、情報の提供、原因究明及び再発防止の徹底を講ずるよう要請を行いました。

嘉手納飛行場におけるF-22Aラプター戦闘機の暫定展開について

米空軍は、米インド太平洋軍の地域安全保障計画（Theater Security Package）の下、インド・太平洋地域での安全保障に関する任務を十分に果たし、同地域の平和と安定を維持していくことを示すべく、アラスカ州エルメンドルフ・リチャードソン統合基地に所属する第525戦闘機中隊のF-22A戦闘機（14機）を平成30年5月30日から約1カ月の期間で嘉手納飛行場に暫定展開させました。

当局といたしましては、今回の展開は、日米同盟の抑止力の強化、我が国及びインド・太平洋地域の安全に寄与するものであり、日米同盟にとって極めて重要な取組みと考えています。

他方、米軍機の運用によって、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめることが重要と考えており、引き続き米側に対し、騒音の軽減が図れるよう一層の協力を求めるなど、可能な限り地元の負担軽減に努めてまいります。

熊本空港で発生したUH-1Yヘリによる予防着陸について

●予防着陸の概要

4月18日午後1時30分頃、普天間飛行場に所属するUH-1Yヘリ1機が、コックピットの警告灯が点灯したため、熊本空港に予防着陸しました。

●米軍の対応

機体の安全点検を実施し、所要の整備が全て完了した後、4月23日に熊本空港を離陸し、普天間飛行場に帰投しました。

防衛省及び沖縄防衛局の対応

本事案の発生の第一報を受け速やかに現場に職員を派遣し、状況把握に努めました。

また、米側に対し、航空機の運用にかかる整備、点検及び安全管理の徹底を強く要請を行いました。さらに米側から得られた情報を速やかに関係自治体等へ情報提供を行ったところです。

津堅島及び伊江島でのパラシュート降下訓練について

【津堅島訓練場水域】

4月5日及び6日、それぞれ本年3度目及び4度目となる在沖米軍によるパラシュート降下訓練が実施されました。

【伊江島補助飛行場】

4月3日、在沖米軍によるパラシュート降下訓練が実施された際、隊員1名のメインパラシュートが開かなかったため、切り離されたメインパラシュートが提供施設・区域外の牧草地に落下する事故が発生しました。この事故発生の第一報を受け、牧草地に被害がないかを現地確認するなどの対応を行いました。

当局といたしましては、部隊練度の維持に必要なパラシュート降下訓練の実施に当たっては、安全管理に万全を期すように米側へ申し入れるとともに、引き続き地元自治体と連携して対応してまいります。

県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況

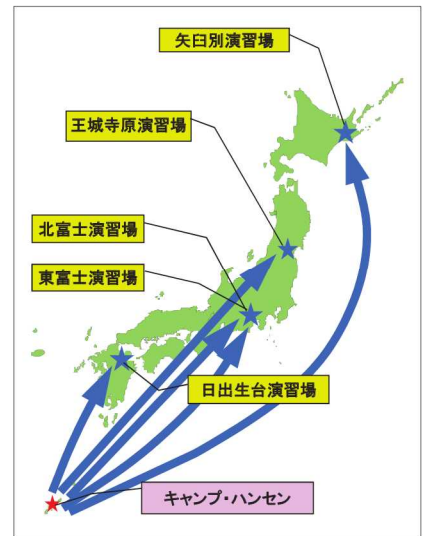
キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、いわゆる県道104号線越え実弾射撃訓練については、平成8年12月の日米特別行動委員会(SACO)の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成9年7月から本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに74回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

平成30年度の訓練計画については、以下のとおりです。(第1回は実施済)

今後の各演習場における訓練の具体的な日程等については、日米間において調整を行い決定します。

今後とも、本土5カ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでまいります。



本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施

【平成30年度訓練計画】

- 第1回 東富士演習場 平成30年4月中旬～5月中旬(実施済)
 - 第2回 矢白別演習場 平成30年7月下旬～8月下旬
 - 第3回 北富士演習場 平成30年10月中旬～11月中旬
 - 第4回 王城寺原演習場 平成31年1月下旬～2月下旬
- ※上記期間は、部隊の展開期間である。

県内企業の工事受注機会確保と平成29年度建設工事契約実績

沖縄防衛局が発注する建設工事は、原則として一般競争入札によることとし、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素も考慮する総合評価落札方式を適用しています。

また、県内企業の受注機会拡大の施策として、一定額未満の建設工事について地域評価型の総合評価落札方式を採用し、地産品の使用状況や地元企業の採用状況などの地域貢献度を評価項目とするほか、分離・分割発注の検討、競争参加資格の緩和、地域優良企業活用JV、複数工事の一括審査及び国の工事成績に加え地方公共団体の工事成績も評価するなどの施策を実施しているところです。

当局の平成29年度における建設工事契約実績は、総契約件数110件、総契約金額約853億円でした。このうち、県内企業の契約実績は、件数で90件、金額で約382億円、全体に占める割合は、件数で約82%、金額で約45%となっています。また、平成29年度の県内企業の入札参加総数は、延べ808社(工事1件あたり平均約7.3社)でした。

(参考)過去3年間における建設工事受注実績

		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		県外企業	県内企業	計	県外企業	県内企業	計	県外企業	県内企業	計
契約件数(件)	総契約件数	9	89	98	9	58	67	20	90	110
	県内企業の受注率(%)	91%			87%			82%		
契約金額(億円)	総契約額	182	266	448	83	163	246	471	382	853
	県内企業の受注率(%)	59%			66%			45%		

注: 県内企業を含む建設共同企業体(JV)は、件数を県内に含め金額を出資比率で按分。

お知らせとお願いについて

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。

実際に、米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、法令違反に当たる場合があります。安全確保のため、御理解をお願いいたします。

【本チラシの内容についてのお問い合わせ先】

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課
(代表)03-3268-3111(内線:36245、36047)

防衛省沖縄防衛局 企画部地方調整課
(代表)098-921-8131(内線:206、254)

お知らせとお願い

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、重大事故につながるおそれのある大変危険な行為です。行わないで下さい。

こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**

米軍施設の上空やその周辺においてヘリやドローンを飛行させることは、**米軍の航空機との衝突事故等につながるおそれがある大変危険な行為です。**

実際に、**米軍ヘリが衝突を避けるために回避を余儀なくされる等、米軍航空機の航行の安全に影響が生じるような事案が発生しています。**こうした行為により、航空機の安全な航行を妨害したとき等には、**法令違反に当たる場合があります。**

安全確保のため、御理解をお願いいたします。

防衛省・警察庁・国土交通省・外務省

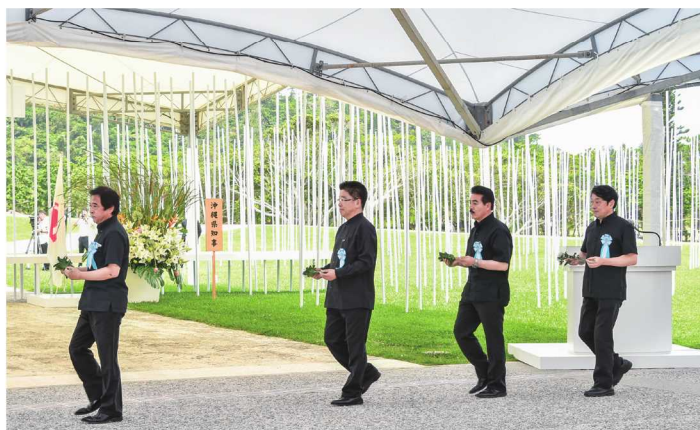
■本チラシの内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のいずれかの部署に連絡いたします。

防衛省本省 地方協力局地方協力企画課 防衛省沖縄防衛局 企画部地方調整課	(代表) 03-3268-3111 (内線: 36245、36047) (代表) 098-921-8131 (内線: 206、254)
---	--

小野寺防衛大臣の沖縄訪問

6月23日、小野寺防衛大臣は、糸満市の平和祈念公園で執り行われた平成30年沖縄全戦没者追悼式に参列しました。追悼式では、先の大戦で亡くなられた方々の御冥福を祈りました。また、午後には陸上自衛隊南与座分屯地、航空自衛隊与座岳分屯基地及び海上自衛隊那覇基地を視察し、隊員に訓示しました。

6月24日には、久米島町において防衛大臣としては初めて、航空自衛隊久米島分屯基地を視察し、隊員に訓示しました。その後、久米島射爆撃場の視察を行いました。



沖縄全戦没者墓苑へ献花する小野寺大臣（右）



国立沖縄戦没者墓苑へ献花する小野寺大臣



追悼式で黙とうする小野寺大臣（左から4人目）



宮城之塔へ献花する小野寺大臣



航空自衛隊久米島分屯基地での訓示の様子



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様の御意見・御感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス：houdou-ok@okinawa.rdb.mod.go.jp